

国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開（第 14 回）について

国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設において、壁画・石材の修理作業を行っている「修理作業室」の第 14 回目の公開を実施した。

概要は次のとおり。

1. 期 間：平成 27 年 10 月 31 日（土）～ 11 月 8 日（日）〔9 日間〕
2. 場 所：国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設（国営飛鳥歴史公園内）
3. 主 催：文化庁，独立行政法人国立文化財機構（奈良文化財研究所，東京文化財研究所），
国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所，奈良県，奈良県教育委員会，
明日香村
4. 内 容：事前ガイダンス（高松塚古墳の概要，保存管理の経緯及び現状等）
修理作業室の公開（見学用通路から窓ガラス越し）
5. 主な展示：北壁玄武，天井星宿，西壁女子群像（飛鳥美人）を見学用通路側に設置。
6. 来場者数：3, 405 人

（参考）過去の来場者数

第 1 回	平成 20 年	5 月 31 日～ 6 月 8 日	（9 日間）	3, 763 人
第 2 回	平成 20 年	11 月 2 日～ 11 月 9 日	（8 日間）	3, 302 人
第 3 回	平成 21 年	5 月 31 日～ 6 月 7 日	（8 日間）	2, 044 人
第 4 回	平成 21 年	10 月 31 日～ 11 月 8 日	（8 日間）	1, 625 人
第 5 回	平成 22 年	5 月 8 日～ 5 月 16 日	（8 日間）	2, 415 人
第 6 回	平成 22 年	10 月 30 日～ 11 月 7 日	（8 日間）	2, 534 人
第 7 回	平成 23 年	5 月 14 日～ 5 月 22 日	（8 日間）	4, 075 人
第 8 回	平成 23 年	11 月 19 日～ 11 月 27 日	（8 日間）	2, 422 人
第 9 回	平成 25 年	1 月 19 日～ 1 月 27 日	（8 日間）	2, 441 人
第 10 回	平成 25 年	8 月 18 日～ 8 月 25 日	（8 日間）	2, 923 人
第 11 回	平成 26 年	1 月 18 日～ 1 月 26 日	（8 日間）	2, 639 人
第 12 回	平成 26 年	8 月 23 日～ 8 月 31 日	（8 日間）	2, 210 人
第 13 回	平成 27 年	1 月 17 日～ 1 月 25 日	（8 日間）	1, 567 人

平成27年度秋期特別展「キトラ古墳と天の科学」について

奈良文化財研究所飛鳥資料館において、キトラ古墳天文図にかかわる最新の研究成果と古代の星図などの関連資料を展示した。

概要は次のとおり。

1. 期 間：平成27年10月9日（金）～11月29日（日）
2. 場 所：奈良文化財研究所飛鳥資料館
3. 主 催：文化庁、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
4. 共 催：朝日新聞社
5. 特別協力：NHK
6. 主な展示：キトラ古墳壁画複製陶板（天井）、淳祐天文図拓本、天象列次分野之図拓本、具注暦木簡（複製、期間限定で実物を展示）
7. 来場者数：12,862人

10月31日には明日香村中央公民館において「キトラ古墳と天の科学」と題した講演会があり、126人の参加があった。

関連イベントとして、10月18日には大阪市北区の中之島フェスティバルタワーにおいて小中学生を対象とした「古代人が見た星宙～キトラ古墳に学ぶ天文学のすすめ」が行われ、キトラ古墳天文図がわかる映像を上映したほか、天体観測等が行われた。また、11月8日には西東京市の多摩六都科学館において中学生以上を対象とした「プラネタリウムで考古学～キトラ古墳の星空が語るもの～」が開催され、キトラ古墳の石室内部の写真をドームスクリーンに投影するなどされた。